八木健に学ぶ滑稽俳句　２

高橋 素子

心は誰にも見えないけれど　心づかいは見える

思いはみえないけれど　思いやりは誰にでも見える　その気持を形に

これは、一時、巷で人々の心を掴んだ人気テレビコマーシャルの文句である。この文章が知の詩である**川柳**と、感性の詩である**滑稽俳句**の違いをよく表していると私は思っている。つまり心や思いを説明するのが川柳であり、その感動を心づかい・思いやりの様に、見える形に詠むのが俳句なのである。

勿論、川柳は他を面白く風刺・穿つものであり、滑稽俳句は季語をもつ自己風刺の感動詩であることに変わりはないが。

では、説明と描写とはどう違うか、師匠・八木健の句を引用して実際に学んでみたい。

はじめての浴衣着せられ緊張す

これは説明の句である。浴衣を緊張して初めて着ていることは、説明なしでは他人には分からない。

これを見える形にすると、

浴衣てふもの棒立ちにきせられる　　　健

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

確かに、初めての浴衣に緊張している子どもの姿が、生き生きと目に浮かんで、素敵な滑稽句に前句が変身している。

這うといふかすくふといふかつばくらめ

勿論、これも説明の句である。

つばくらめ地に条痕をつけてとぶ　　　健

燕が地面すれすれに地表をなめる様に飛ぶ姿を、

「条痕をつける」という言葉で、見事に見える形に変身させている。

恥ずかしいかたち二股大根は

これも勿論、説明の句である。これが師匠・八木健の手にかかると、

下半身曝し二股大根よ　　　健

と、見事に滑稽俳句に変身である。エロチシズムの感じられる句であり、大根を擬人化した滑稽句ともいえる。「大根も好き好んでこんな姿をしているわけではないので、パンツをはかせてやりたい」等と、大根への愛情たっぷりに、師匠・八木健の作句感を聞かされると、ふふふと笑いながらも、尚更気恥ずかしくなってくる。

今少し、師匠の句に学んでみよう。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

石清水のどの渇きをうるほせる　　　　（説明の句）

四つんばい顔つけて飲む石清水　　**健**（滑稽俳句）

悠然とおおきな鯨うきあがる　　　　（説明の句）

海原を持ち上げてゐる鯨かな　　　**健**（滑稽俳句）

師匠の句をお手本に、私も一句詠んでみる。

隣家より覗いて見ている紅椿　　　　（説明の句）

窓あけて隣家の椿に覗かれる　　**素子**（滑稽俳句）

簡単に見えるかも知れないが十七音字での詩の世界を説明無しに描写することは、本当に難しい。

昨今、他を穿つ事が少なく、滑稽俳句に似通って来た川柳との違いを始めに示しておくことは、滑稽俳句を作句する上で大切だと、私は思っている。

復本一郎氏は著書「俳句と川柳」で俳句と川柳を区別するものは、「切れ」の有無であると言い切っている。つまり切れがあるのが俳句、ないのが川柳であると。加賀の千代女の有名な「朝顔」の二句を例に、

朝顔に釣瓶とられてもらい水

これは「切字」もなく川柳に近い作品。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

朝顔やつるべとられてもらい水

切字「や」で句が切れていて、朝顔の美しさに感嘆し、それ故もらい水したと言う二重構造性と完結性を持ち、これは俳句と解説されている。

「連歌の発句」に庶民性と滑稽性を加味したものが、「俳諧の発句（俳句)」である以上、「俳句は川柳同様、笑いの文学」である。「連歌の発句」が切れと季語を必須条件とするからには、「俳諧の発句」である俳句も当然、切れと季語が必要となって来る。しかし、俳句の中には、

首たてにふって納得ゆかぬ驢馬　　　健

の様に、季語のない「無季俳句」もある。この句は、

師匠がエジプト旅行の際、鞭打たれ荷車を引く驢馬の身になって詠んだ擬人化の句である。驢馬は理不尽な事と思いながらも、前に進むためには、首を縦に振らざるを得ない。それは驢馬がこの境遇を受け入れているかの様で、哀しくも可笑しい。

反対に「季語を持つ川柳」も存在する。

ジーンズを切つて更衣しましたね　　　健

「更衣」は夏五月の季語である。だが、この句には、「切れ」はない。真新しいジーンズを切ったり、穴をあけたり、磨り減らしたり・・・。これが若者の現代ファッションである。しかし、戦中生まれの師匠にとって

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。

は、それは、どうみてもオシャレとは言い難い。詠み手である師匠は、世を穿ち、驚き呆れながらも、どこか若者に共鳴し、感嘆しているのである。

　句を切る「切字」には、「や・かな・けり」など全部で十八ある。しかし、切字がなくても句は切れる。芭蕉は、「切字」よりも「切れ」のある句を心がけよ、と述べている。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。